

# 平成27年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

## 目 次

I 障害者関係事業	1
1. 第30回東京都障害者総合美術展	1
2. 平成27年度東京都障害者休養ホーム事業	2
3. 第34回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	3
4. 第32回障害者のためのふれあいコンサート	4
5. 平成27年度第30期障害者のカルチャースクール	4
6. パラアート事業	6
7. 明治神宮奉納「第74回全日本力士選士権大会」	6
II 高齢者関係事業	7
1. 介護サービス情報の公表	7
2. 第17回クプナ・フラ・フェスティバル	7
3. 第20回シニアコーラス TOKYO フェスティバル	8
4. 第46回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー	9
5. 高齢者のためのはつらつカラオケコンクール	10
6. その他の福祉関係事業	11
(1) ボランティアの組織化と活動	
(2) 他団体主催行事招待及び物品の贈呈	
III 東京都福祉サービス第三者評価事業	11
IV 共催・後援・協力事業	12
1. 障害者関係事業	12
(1) 第43回車椅子バスケットボール選手権大会	
(2) 第49回スポーツの集い	
2. 高齢者関係事業	13
(1) 第52回東京都老人クラブ芸能大会	
(2) 第34回福祉施設への美容師訪問ボランティア	
V 法人の運営	14
1. 理事会・評議会の開催	14
2. 後援会活動	15

## 平成 27 年度事業の実施内容

### I 障害者関係事業

#### 1. 第 30 回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃から修練し積み重ね創作した作品の、審査・展示発表の機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露すること及び障害者が持っている芸術文化の能力を基に、自立と健常者との交流など社会参加の促進を図ることを目的に、今回は 30 周年記念展として開催した。

主 催:東京都

主 管:日本チャリティ協会

期 日:平成27年8月6日(木)から8月10日(月)まで(5日間開催)  
(審査会:8月4日(火) 場所:東京都社会福祉保健医療研修センター)

時 間:午前10時から午後9時まで(最終日は午後4時閉会)

場 所:西武池袋本店7階特設会場

内 容:募集:公募(都内在住の障害者)

募集内容:絵画・造形・書・写真

表彰:最優秀賞(東京都知事賞)1点、優秀賞2点、佳作5点、努力賞5点

努力賞5点、日本チャリティ協会会長賞、審査員特別賞 計20点

応募点数:絵画 511 点・造形 114 点・書 109 点・写真 46 点 計 774 点

(前年度 計 672 点)

入選展示数 201 点(前年度 204 点)

審査員:山本貞、友永詔三、堀吉光、板見浩史、高木金次

表彰式:平成27年8月6日(木)9時40分 展示会場内

高円宮妃殿下

梶添要一 東京都知事

遠藤 守 東京都議会厚生委員会委員長

馬場達也 そうごう・西武池袋本店次長

高木金次 日本チャリティ協会会長

山本 貞 日本藝術院会員、二紀会理事長(審査員長)

来場者:3,811名(前年度3,613名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	7,150,000 円	東京都委託金収益 7,150,000 円
経 常 費 用	7,150,000 円	募集及展示等 6,100,700 円、事務費 1,047,860 円
当期経常増減額	0 円	

## 2. 平成 26 年度東京都障害者休養ホーム事業

障害者及び介助者が家族や仲間とくつろぐため東京都が指定した保養所を利用し、日常生活からの解放感を満喫し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活づくりを目的に、東京都から委託を受け実施をした。

主 管:東京都

管 理:日本チャリティ協会

受託期間:平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月まで

利用対象:都内在住の障害者及び付添者

受託内容:休養ホーム利用申込、相談及び施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		本年度	前年度
利用件数		2,889 件	2,992 件
利用者数		22,041 名	23,254 名
内 訳	身体障害	8,976 名	9,900 名
	知的障害	11,215 名	11,196 名
	精神障害	1,850 名	2,158 名

指定施設:○数字は都指定施設の数 合計 37 施設(前年度 36 施設)

北 海 道②	ピュア・フィールド風曜日、うねうね畑とくもの月
東 北 方 面 ②	湖畔のホテル・クオレ、かんぼの宿郡山
常 磐・関 越 方 面 ⑪	いこいの村潤沼、かんぼの宿大洗・塩原、冬桜の宿神泉、 休暇村奥武蔵、ガストホフエール、栃木県障害者保養セ ンター那珂川苑、まついだ森の家、湯沢ニューオータニホ テル、ホテル・エフ、ニューグリーンピア津南
房 総 方 面 ③	かんぼの宿旭・勝浦・鴨川
中 央 線・信 州 方 面 ⑧	かんぼの宿青梅・石和・諏訪、雅樹雅、富士レークホテ ル、山ぼうし、さゆ〜る、旅館はくら
伊 豆・箱 根 方 面 ⑤	すばる、箱根高原ホテル、熱川ハイツ、ひゅっかり、サニー ステップ
東 海 方 面 ④	富士リゾート、かんぼの宿浜名湖三ヶ日・三ヶ根・知多美 浜
関 西 方 面 ②	ホテルビナリオ嵯峨嵐山、神戸ポートピアホテル

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	127,519,245 円	東京都委託金収益 127,519,245 円
経 常 費 用	127,519,245 円	施設利用料 114,663,589 円、振込手数料 262,656 円 事務費 12,594,000 円
当期経常増減額	0 円	

### 3. 第 35 回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和 56 年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機に、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めてもらうことを目的に開催した。

主 催:東京都・日本チャリティ協会

後 援:厚生労働省、内閣府、練馬区

期 日:平成 27 年 12 月 9 日(水)

時 間:午後1時から午後3時まで

場 所:練馬区立練馬文化センター小ホール「つつじホール」

内 容:第一部記念式典

表彰:障害者福祉関係知事表彰

① 自立支援功労者 受賞者 5 名

② 自立生活者 受賞者 1 名

記念品贈呈:日本チャリティ協会

明日への主張～聴覚障害者が働きやすい社会へ～寺師義和

第二部ふれあいステージ

ふれあいショー

▶フラダンス ナー・マモ・レフアマカノエ

▶阿波踊り 練馬区聴覚障害者協会だいこん連

▶ハワイアンライブ KONISHIKI(小錦八十吉)

司会/秋島由実

参加者: 512 名

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	4,500,000 円	東京都補助金収益 4,500,000 円
経 常 費 用	4,500,000 円	設営及出演料等 3,274,982 円、事務費 1,225,018 円
当期経常増減額	0 円	

#### 4. 第 32 回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供し、障害者の積極的な社会参加を図るとともに、豊かで生きがいのある暮らしづくりを目的に開催した。

主 催:東京都 日本チャリティ協会 東京都交響楽団

協 賛:(株)大塚商会

期 日:平成 28 年3月 6 日(日)

時 間:午後2時から午後4時まで

場 所:新宿文化センター大ホール

内 容:第一部 J・Prum 東京和太鼓

第二部 管弦楽演奏 演奏/東京都交響楽団

指揮/田中雄樹

司会/加藤知華

招待者 :1,254 名(前年度 1,382 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	2,075,000 円	東京都補助金収益 1,975,000 円 企業協賛金収益100,000 円
経 常 費 用	2,075,000 円	設営及出演料等 1,249,822 円、事務費 825,178 円
当期経常増減額	0 円	

#### 5. 平成 27 年度第 30 期障害者のカルチャースクール

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発を目的に、実技指導には各界の著名な作家を講師として招聘し実施した。

主 催:日本チャリティ協会

期 日:平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月まで(実技指導 年 18 回)

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:全 4 コース/マンガ・イラスト、一般絵画 A・B、書道、

コース	第 30 期	第 29 期	第 28 期	第 27 期
マンガ・イラスト	14 名	14 名	18 名	14 名
一般絵画 A	17 名	18 名	21 名	25 名
一般絵画 B	20 名	19 名	20 名	22 名
書道	18 名	17 名	20 名	24 名
合 計	69 名	68 名	79 名	85 名

○開講式

期 日:平成 27 年 4 月 5 日(日)

時 間:午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:主催者挨拶(日本チャリティ協会会長)

講師紹介及び委嘱状交付

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、白木ゆり、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、  
八木道夫、タナカミノル

○閉講式

期 日:平成 28 年 3 月 13 日(日)

時 間:午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:修了証・皆勤賞の授与

祝辞(日本チャリティ協会会長、各講師)

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、八木道夫、  
タナカミノル

修了証授与:

コース	第 30 期	第 29 期	第 28 期	第 27 期
マンガ・イラスト	13 名	13 名	17 名	14 名
一般絵画 A	16 名	16 名	18 名	21 名
一般絵画 B	17 名	18 名	19 名	17 名
書道	14 名	14 名	16 名	19 名
合 計	60 名	61 名	70 名	71 名

皆勤賞授与:計 19 名(昨年 15 名)

○第 30 期作品展

カルチャースクールの 30 回記念作品展「第 30 回記念パラアートスクール作品展」

期 日:平成 27 年 9 月 7 日(月)から 10 日(木)まで 会期 4 日間

場 所:豊島区センタースクウェア(豊島区役所 1 階)

内 容:受講者の作品(マンガ・イラスト 13 点、一般絵画A16 点、一般絵画B18 点、書  
道 18 点)、思い出の作品(20 点)、講師の特別出品(10 点)

特別企画展:金澤翔子(書)、日本漫画協会作家(百歳漫画)、鈴木達也(絵  
画)

来場数:423 名(前回:351 名エコギャラリー新宿)

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	5,236,250 円	助成事業収益 2,000,000 円 事業受託収益(講座受講料) 2,434,250 円 受取寄付金 802,000 円
経 常 費 用	5,192,840 円	カルチャースクールの運営 3,095,734 円 30 回記念作品展の開催 2,097,106 円
当期経常増減額	43,410 円	

## 6.パラアート事業

「パラアート」とは、「2009アジア・パラアートTOOKYO」展記念シンポジウムにおいて、障害を持つ作家たちが創作する芸術を象徴するものとして採択し、チャリティ協会が世に送り出した共通語である。昨年度は「2013アジア・パラアートTOOKYO」展等を盛大に開催した。本年度はこれまでの活動を踏まえ更なる「パラアート」の普及発展に努めた。

### (1)「パラアート工房作品展」の開催(\*パラアートスクール作品展と併催)

期 日:平成 27 年 9 月 7 日(月)から 10 日(木)まで 会期 4 日間

場 所:豊島区センタースクウェア(豊島区役所 1 階)

内 容:障害者が描いた原画を素に、インテリア雑貨100点、生活用品等400点を展示した。

来場数:423 人

### (2)全国障害者芸術・文化祭への出展参加

鹿児島県と厚生労働省が主催する第 15 回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会展示会場に設けられた「パラアート」コーナーに出展参加した。なお、本事業は第 10 回徳島大会から継続して出展参加している。

期 日:平成 27 年 11 月 27 日(金)から 29 日(日)まで 会期 3 日間

場 所:かごしま県民交流センター2 階ロビー

内 容:「2015 パラアートかごしま展」出展 43 点(海外 23 点、国内 20 点)

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	6,023,912 円	受取寄付金 3,530,000 円 企業協賛金収益 100,000 円 雑収益(とっとり大会作品搬送等) 395,000 円
経 常 費 用	3,409,857 円	パラアート工房展の開催 1,122,553 円 パラアートの普及(かごしま展等) 2,287,304 円
当期経常増減額	2,614,055 円	

## 7. 明治神宮奉納「第74回全日本力士選士権大会」

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受け開始した協力事業。

主 催： 明治神宮

協 力： 日本相撲協会、日本チャリティ協会(昭和56年の第41回から協力を開始)

期 日： 平成27年10月5日(月)

時 間： 正午から午後4時まで

場 所： 両国国技館

招待者： 障害者(児)と家族1,400名を招待

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	62,000 円	受取寄付金 62,000 円
経 常 費 用	61,724 円	旅費、保険料、ボランティアへの謝金等
当期経常増減額	276 円	

## II 高齢者関係事業

### 1. 介護サービス情報の公表

介護サービス情報調査は、介護保険法に基づく都道府県の自治事務で、介護サービス事業者のサービスの内容や運営状況を調査した客観情報をインターネット等により公表する制度。本協会は、都の指定調査機関としてサービス提供事業者に対する調査を行った。

調 査 員：調査従事調査員7名(登録調査員18名)

調査期間：平成27年8月～平成28年2月

調査件数：119件(調査員平均調査件数17件)

介護サービス区分	本年度	前年度
訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリテーション	45件	39件
通所介護・通所リハビリテーション	32件	33件
特定施設入居者生活介護(有料・軽費・高齢者向け住宅)	6件	3件
福祉用具貸与	4件	6件
小規模多機能型居宅介護	0件	1件
認知症対応型共同生活介護	0件	0件
居宅介護支援	28件	32件
介護老人福祉施設・短期入所生活介護	3件	8件
介護老人保健施設・短期入所療養介護	1件	3件
計	119件	125件

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	2,129,900 円	事業受託収益(調査委託費)2,129,900 円
経 常 費 用	1,546,905 円	調査費 865,561 円、事務費 681,344 円
当期経常増減額	582,995 円	

### 2. 第 17 回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによるフラダンスの質の高い発表の場として、また、中高年者の文化活動の促進及び親睦並びに健康維持増進等を促進させ明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に開催した。

主 催: 日本チャリティ協会、クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

後 援: ハワイ州、ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会、

協 賛: 日本ハワイアン音楽協会、Hawaiian Fan

協 力: HULA Le`s

企画制作: (株)公共事業PRセンター

期 日: 平成 27 年 6 月 20 日(土)午後 3 時から午後 8 時まで

場 所: 中野サンプラザホール

出 演 者: 全国フラグループ 18 組(前年度 19 組)  
フラグループにハワイ州知事より感謝状が交付贈呈

特別出演: チンキー・マーホエ、ソンド・マーホエ

来 場 数: 1,904 名(前年度 2,520 名\*2日間)

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	9,284,680 円	主催事業収益(参加料等)7,895,040 円 企業協賛金収益 1,389,640 円
経 常 費 用	9,278,847 円	企画制作費及会場費等 6,878,847 円 事業委託費 2,400,000 円
当期経常増減額	5,833 円	

### 3. 第 20 回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、高齢者の生きがいと積極的な社会参加を促すとともに、高齢者のより豊かで充実し

た文化生活を送るなど、高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催したシニアコーラスコンクール。

主 催:日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会  
 後 援:厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会  
 協 賛:都民共済  
 協 力:東京都合唱連盟  
 企画制作:(株)公共事業PRセンター  
 期 日:平成 28 年 3 月 2 日(水)  
 時 間:午前 10 時 30 分から午後 4 時 30 分まで  
 場 所:なかのZERO大ホール  
 参 加:23 組 602 名(前年度 24 組 668 名)  
 審 査 員:小森昭宏、安田祥子、宇佐美瑠璃、岸信介、千住 明  
 来 場 数:1,418 名(前年度 1,337 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	6,971,880 円	主催事業収益(参加料等)1,538,480 円 事業受託収益 3,240,000 円 助成事業収益 1,000,0000 円 受取寄付金 1,193,000 円、雑収益 400 円
経 常 費 用	6,971,007 円	企画制作費及会場費等 4,779,007 円 事業委託費 2,192,000 円
当期経常増減額	873 円	

4.第 46 回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー

～「永遠のスクリーンミュージック Part19」～

高齢者が過ごした時代に身近に流れた音楽を、同時代を生き抜いた歌手と現代を代表する歌手などで再現する福祉活動推進のためのチャリティショウ。高齢者等の福祉への貢献及び音楽界の活性化と芸能文化の発展にも寄与することを目的に開催した。

主 催:日本チャリティ協会 永遠のスクリーンミュージック運営委員会  
 後 援:東京都  
 企画制作:(株)公共事業PRセンター  
 期 日:平成 27 年 9 月 4 日(金)  
 時 間:午後5時30分から午後8時40分まで

場 所:中野サンプラザホール

幹事団体:合掌苑、芙蓉会、東京蒼生会、東京都盲人福祉協会、東京都知的障害者育成会、東京都肢体不自由児者父母の会

出 演 者:ペギー葉山、菅原洋一、雪村いづみ、団しん也、寿ひずる、マリーン、前田はるみ、大橋美加、寺泉憲、田嶋陽子、広瀬としえ、竹山京李、島津とも子、花田玲子、小林麗子、三森万輝、初音ひかり、瀧園子、春風まこ、奈央海ゆう、鈴木結花

来 場 者:1,404名(前年度1,435名)

#### 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	8,278,418円	主催事業収益7,325,418円 企業協賛金収益324,000円 受取寄付金629,000円
経 常 費 用	8,277,470円	企画制作費及会場費等6,545,470円 事業委託費1,732,000円
当期経常増減額	948円	

#### 5.高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活を送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催した。

主 催:日本チャリティ協会

後 援:東京都老人クラブ連合会他

企画制作:(株)公共事業PRセンター

##### ○第160回大田区大会

期 日:平成27年10月23日(金)

場 所:大田区民ホールアブリコ大ホール

審査員:永田文夫、満留紀弘、大田区老人クラブ連合会会長

出場者:64名(前年度51名)

参加者:1,000名(前年度1,000名)

アトラクション:松川美樹、はやぶさ

##### ○第159回世田谷区大会

期 日:平成27年7月8日(水)

場 所:鳥山区民会館ホール

審査員:瀬川昌久、満留紀弘、世田谷区高齢者クラブ連合会会長

出場者:68名(前年度56名)

参加者:500名(前年度500名)

アトラクション:みなみあい、南城さおり

#### 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	1,470,000円	事業受託収益1,000,000円 受取寄付金470,000円
経 常 費 用	1,469,035円	事業委託費1,000,000円、事務費469,035円
当期経常増減額	965円	

## 6. その他の福祉関係事業

### (1)ボランティアの組織化と活動(年間事業)

ボランティアは、本協会が事業を推進していく上において欠かせない存在であり、ボランティアの効率的な活動を行うために組織を強化し、目的別ボランティアの育成組織化に取り組んだ。

主な分類:協会のイベント参加者並びに企業OB、目的別シニアボランティアクラブ、自薦の中高年女性

参加事業:障害者総合美術展、高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー、ふれあいコンサート、シニアコーラスフェスティバル、クプナ・フラ・フェスティバル、アンケート調査などにおける発送・梱包、受付、会場整理、ビデオ撮影、写真撮影、パソコン入力

参加人数:ボランティア参加延べ人数

イベント/219名(内カメラ・ビデオボランティア17名)

### (2)他団体主催行事招待及び物品の贈呈

協会の理念や目的の共有を図ることを目的に、他団体から寄せられた行事や催し物招待及び物品をボランティア等に贈呈し、その行事等に参加し受けた事柄を、本協会行事に反映をさせた。

催事の種類:音楽・芸能・スポーツ他

贈 呈 先:ボランティアの他、福祉作業所・障害者団体・東京都老人クラブ連合会等にも贈呈した。

贈 呈 点 数:2,100点(昨年度1,710点)

贈呈金額(換算):11,640千円相当(昨年度9,484千円相当)

### Ⅲ 福祉サービス向上のための収益事業(東京都福祉サービス第三者評価)

障害者及び高齢者施設の事業所が、東京都福祉サービス第三者評価の受審を通して、福祉サービスの質の向上及び運営上の課題解決に資することを目的に実施した。

評価実施件数:46件(前年度36件)

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	15件
障害者(児)サービス分野	21件
児童・生活保護等のサービス分野	6件
利用者調査	4件

評価従事評価者数:31名(協会登録:主たる評価者13名、従たる評価者18名)

1人当たりの平均評価件数:1.48件

決算の状況

区分	決算額	説明
経常収益	22,726,975円	事業受託収益(評価受託料)22,726,975円
経常費用	19,918,038円	評価関係費8,678,950円、事務費6,725,066円 過年度分法人関係費等4,514,022円
当期経常増減額	2,808,937円	

### Ⅳ 共催・後援・協力事業

#### 1 障害者関係事業

##### (1) 第43回車椅子バスケットボール選手権大会

障害者のスポーツを通じた体力の維持管理及び機能回復等の向上と、自立更生の充実を目的に開催する行事への協力を行った。

主催:日本身体障害者スポーツ協会、日本車椅子バスケットボール連盟

後援:厚生労働省、文部科学省、東京都、日本チャリティ協会他

期日:平成27年5月3日(日・祝)から5日(火・祝)まで

場所:東京体育館メインアリーナ

参加:全国より予選勝ち抜きの16チーム

内容:敢闘賞の贈呈(財団法人日本チャリティ協会会長賞)

##### (2) 第49回スポーツの集い

在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者(児)とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的に開催される「スポーツの集い」が、さらに社会

の多くの人々に障害者に対する理解が深まるようなアトラクションの企画運営に協力した。

主 催: 東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団

協 力: 日本チャリティ協会

期 日: 平成 27 年 9 月 2 日(水)

時 間: 午前 10 時から午後 3 時 30 分まで

場 所: 東京体育館メインアリーナ

内 容: アトラクションのプロデュース

出演者: 拓殖大学麗澤会総務局吹奏楽部

tocamos!!

司会/新宮隆子

参加者: 1,186 名(前年度 1,320 名)

## 2 高齢者関係事業

### (1) 第 52 回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ(区市町村単位)が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる民謡(新舞踊、フラダンス等の民族舞踊を含む)の祭典の運営に関する助言と審査員の派遣協力を行った。

主 催: 東京都老人クラブ連合会

後 援: 厚生労働省、東京都、日本チャリティ協会他

期 日: 平成 27 年 9 月 7 日(月)

時 間: 午前 10 時から午後 4 時まで

場 所: 文京シビックセンター大ホール

内 容: 老人クラブ民謡舞踊コンクール運営ならびに観客動員

審査員: 満留紀弘、藤間松三枝、鈴木恵子

参加者: 1,200 名(出場者 37 組 314 名)

### (2) 第 34 回福祉施設への美容師訪問ボランティア

都内の有志美容師及び山野学苑在学生在が施設を訪問し整髪とメイクアップを施す奉仕活動を一緒に行った。

主 催: 日本チャリティ協会 学校法人山野学苑

期 日: 平成 27 年 7 月 28 日(火)を中心

時 間: 午後 2 時から午後 4 時まで

場 所: 都内の福祉施設 21 ヶ所(前年度 12 ヶ所)

参加者: 奉仕者 66 名(前年度 53 名)

内 容: ヘアカットとメイクアップ(ヘアカット利用者 113 名、メイクアップ利用者 73 名)

### 3決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	1,026,000 円	事業受託収益 1,026,000 円
経 常 費 用	908,939 円	スポーツの集い 807,640 円 老人クラブ芸能大会 101,299 円
当期経常増減額	117,061 円	

## V 法人の運営

### 1 理事会・評議員会の開催

#### (1)理事会の開催

##### ①平成 27 年第 2 回理事会

期 日:平成 27 年 5 月 27 日(水)

場 所:主婦会館

内 容:

ア.平成 26 年度事業報告について

イ.平成 26 年度決算報告について

ウ.その他

##### ②平成 28 年第 1 回理事会

期 日:平成 28 年 3 月 30 日(金)

場 所:スクワール麴町

内 容:

ア.平成 28 年度事業計画について

イ.平成 28 年度収支予算について

#### (2)評議員会の開催

##### ①定時評議員会

期 日:平成 27 年 6 月 23 日(火)

場 所:スクワール麴町

内 容:平成 26 年度決算の承認について

#### (3)監事監査の実施

期 日:平成 27 年 5 月 16 日(金)

場 所:チャリティ協会事務局

内 容:平成 26 年度決算審査について

期 日:平成 28 年 2 月 18 日(木)

場 所:チャリティ協会事務局

内 容:監事監査指摘事項の確認



(2) 後援会世話人会の開催

期 日:平成 28 年 3 月 26 日(月)

場 所:スクワール麴町

内 容:平成 27 年度決算(案)の承認について

平成 28 年度予算(案)の承認について

会員増強と協会の財政基盤改善への貢献について

(3) 後援会会員 136 名(平成 28 年 3 月 31 日現在数)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	431,500 円	後援会員受取会費 309,000 円 事業受託収益 120,000 円、受取寄附金 2,500 円
支 出 額	431,500 円	ニュースの発行 3 回 419,040 円 運営事務費 12,460 円
当期経常増減額	0 円	